



「自信」をもって、仲間と「ともに」… 挑戦する2学期に

41日間の夏休みが終わりました。今年の夏も、「酷暑」レベルの暑い日が続きました。また、南海トラフ地震発生の危険情報が出されて、とても不安な日々を過ごしました。

でも、体育館にそろった子供たちの姿を見て、みんなが充実した夏休みを過ごしたことが感じられ、また元気よく無事に学校へ戻ってきてくれたことを心からうれしく思いました。

本日より2学期が始まります。始業式の中で、令和6年度のミッション「『やりたいこと』を見つけて、挑戦する」へ、引き続き全校で取り組んでいくことを再確認するとともに、私が「パリオリンピック2024」の中で感動したシーンを紹介し、目指す「ふたばっ子の『挑戦』する姿」と併せて話をしました。

さて、今日から2学期のスタートです。

もちろん「『やりたいこと』を見つけて、『挑戦』する」のミッションは続きます。1学期と同様に一つ一つの活動に取り組む時、「それをなぜやるのか」や「それは何のためにやるのか」を考えるとともに、たくさんの「ひと・もの・こと」とのかかわりやつながりを感じながら、大切にしながら、あなたの「やりたいこと」にどんどん挑戦していきましょう。

ところで、夏休みの前半に開催された「オリンピック2024パリ大会」。みなさんは、何かの競技をテレビで観ましたか。また、どの競技のどんな場面が心に残っていますか。多くの日本人選手が、様々な競技で活躍しました。フェンシングの女子や近代五種など、日本のオリンピック史上初めてメダルを獲得した選手もいました。他にも、体操や柔道など、たくさんの競技や種目でメダルを手にして喜ぶ選手の姿が見られました。

中でも、私の心に残っているのは、男子スケートボードの「ストリート」に参加した「小野寺吟味(おのぞら ぎんう)」選手と女子スケートボードの「パーク」に出場した「草木ひなの」選手です。2人とも世界ランキングトップクラスの実力を持ちながら、今回は惜しくもメダルには手が届きませんでした。でも、自分を信じ、より上手くなることや自分が納得できる挑戦をすることを考えて、何度も高いレベルの技に挑んでいく姿に感動しました。また、自分の技は成功していなくても、同じ競技に出場しているライバルたちの素晴らしいパフォーマンスを、自分ごとのように心から喜んでいる様子にも心動かされました。双葉小のみんなにも、この2人のように自分に自信をもって、仲間とともに認め合い、支え合い、励まし合い、助け合いながら、自分が納得できる挑戦を続ける人になってほしいと、改めて思いました。

昨日からは、「パラリンピック2024パリ大会」が開幕しました。また、私たちに、多くの勇気と自信、そして感動を与えてくれるゲームやパフォーマンスを見られることでしょう。

さあ、まだしばらく暑い日は続きます。でも、そんな暑さにも負けず、2学期もスタートからみなさんの輝く姿をたくさん見せてください。先生方は、あなたの「やりたいこと」を、また、みなさんの「やりたい」という思いを心から応援していきます。2学期も「ともに」頑張りましょう。

2学期は、1年間で最も長く学習内容も活動も多くあり、子供たちが、充実感や満足感を味わうとともに、大きく成長することを期待できる期間です。一人一人が目標を明確に持ち、「なぜ」「何のために」を自らに問い掛けながら、それぞれの子供にとって価値ある学びを積み重ねていけるよう職員一同指導と支援に努めていきます。保護者の皆様の御理解と御協力をよろしく願います。

(校長 藤井隆志)

— 引き続き、やりたいことを見つけ、挑戦する2学期に！ —

最大限の教育活動の推進



学びの保障（わくわくする授業・ICTの活用等）

【校内における教育活動】

◎やりたいことを見つけ、挑戦する子供たちを支援します。

<一つ一つの活動に取り組む時、大切にしたいこと>

- ・「なぜ?」「何のために?」を考えて取り組む
- ・「ひと・もの・こと」とのかかわりやつながりを感じながら取り組む

○外部講師による様々な講座を実施します。

- ・地震車体験（2・4・6年）・防災すごろく（1・3・5年）・スクール119（3年）
- ・がん教育（6年） など

○参観会・懇談会を実施します。



○熱中症対策を講じて、陸上部の活動を実施します。

- ・部会陸上記録会 ・市陸上大会

【校外における教育活動】



○校外学習 9/10（4年）、10/8（3年）、11/12（1・2年）11/13（5年）

○10/21-22 自然教室（4・5年）、11/7-8 修学旅行（6年）、

○12/6 夢の丘コンサート（浜松市音楽科研究発表会）（4年）

○12/5 キッズチャレンジビジネス（販売活動）（6年）

子供の心の支援（アンケート・カウンセリング等）

感染症・熱中症対策、災害対策の継続

— 自然災害発生に伴う学校の対処 —

これからの時期、台風の襲来等、自然災害発生の危険が高まる時期です。子供たちの命を守り、安全な教育活動を実施するため、本年度はじめに配付した「学校における休校の基準や登下校の対応について」を再度ご確認ください。警報の発令の有無に係わらず、大雨、雷雨等の影響で地域や通学路が危険な状況にあり、「安全に登校できない」と保護者が判断した場合は自宅等で子供の安全を確保してください。さくら連絡網での遅刻理由に「安全確保(大雨等)」の選択肢を設けてあります。なお、安全と判断した後、遅れて登校する際は、念のため、保護者が学校まで送ってきてください。よろしくお願いします。

8月には南海トラフ地震臨時情報が発表されました。この地域に大地震の発生はありませんでしたが、地震が起きる可能性がなくなったわけではありません。引き続き、避難訓練や日常生活の中で命を守る大切さについて具体的に指導、支援していきます。御家庭においても避難や災害の備えについて話し合う機会を作っていただきたいと思います。また、緊急連絡をする場合もありますのでさくら連絡網のチェック、開封をこまめにさせていただくこともお願いします。